

令和 7（2025）年度 学校経営方針

江戸川区立下鎌田東小学校

校長 山本 浩一

1 区立学校として期待される学校像

- 笑顔と活力にあふれ、児童一人一人が自分のよさを発揮できる学校
- 全ての教職員が協働し、質の高い教育活動の実現を目指す学校
- 保護者・地域の方々に信頼され、集いの中心となる学校

2 教育目標

◎考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

※令和 7 年度の重点「考える子」

「考える子」・・・生涯にわたって学ぶ意欲をもち、生きる力の基となる考える力を育成する

「思いやりのある子」・・・自分も相手も大切にし、豊かでしなやかな心を育成する

「たくましい子」・・・健康な体をつくり、粘り強くやり抜く力を育成する

→社会の変化に対応し、自らの力で未来を切り拓き、新しい価値を創造できる力の育成

3 令和 7 年度のスローガン

読むぞ！ 走るぞ！ ^{えが}描くぞ！ 東っ子

令和 6 年度明らかになった本校児童の学力の課題である「読み解く力」を向上させるために、校内研究を核として授業改善に取り組むとともに、読書科、朝学習、読書活動等の日常的な学習・取組を充実させる。

また、体力の課題である、全身持久力を向上させるために、運動量豊かな体育学習を展開し、なわ跳びや持久走の取組を充実させる。

さらに、表現活動を充実させ、自分の想いを自由に表現できる児童を育てる。11 月に開催する展覧会は、一人一人の自由な表現の場と捉え、児童に表現することの楽しさをたくさん味わわせる活動を展開する。

4 教育目標達成に向けた具体的な取組

（取組 1）確かな学力の育成

江戸川区全体の目標

2026 年度（令和 8 年度）の「全国学力・学習状況調査」で

☆正答数四分位の分布における C・D 層の児童・生徒割合について、都と区の差を解消する。

☆江戸川区立学校の平均正答率が、東京都全体の平均を上回る。

- ①「誰一人取り残さないための学力向上に向けたアクションプラン」を活用し、基礎学力の定着・向上を図るとともに、学力調査等での課題の分析を生かし、日々の指導の改善・充

実に努める。

- ・学力向上プロジェクトチームの取組推進
 - ・放課後補習教室（EDO スク）の実施・有効活用（対象学年は、4、5、6年生）
 - ・電子ドリルや「東京ベーシック・ドリル」、「よむ YOMU ワークシート」の活用推進
 - ・「江戸川っ子 study week!」の実施（6/23～6/29 10/27～11/2 2/9～2/15）
 - ・「算数・国語授業スタンダード（江戸川区）」の活用
 - ・ALT（外国語指導助手）と連携した外国語教育の充実
- ②「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図り、自ら進んで学ぶ態度を育む
- ③読み解く力を育成する（校内研究 国語科2年次）
- ④一人1台端末（iPad）を活用した個別最適な学びの実現を図る
- ⑤読書科を推進し、区立図書館との連携を強化する
- ・「江戸川っ子 読書科コンクール」への参加（小学生の部 第5学年・第6学年1点）
- ⑥教師の専門性を生かした教科担任制を実施する
- ・中、高学年を中心に理科、社会、体育等で教科担任制を計画的に実施

（取組2）自分も友達も大切にする教育の推進

- ①江戸川区子どもの権利条例の理解を進める
- ②教育活動全体を通して人権教育、道徳教育を進める
- ・人権課題やSDGsの推進への取組
 - ・道徳授業地区公開講座の実施 9/13（土）
- ③いじめ・不登校、問題行動の未然防止、適切・迅速な組織的対応を図る
- ・生活指導夕会での情報交換
 - ・「わたしの学校生活を振り返るアンケート」や面談の実施
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部機関との連携
 - ・やむを得ず登校できない児童の多様な居場所づくりを進める
 - ・L-Gate（毎日の記録～一人1台端末を用いた、心の健康観察）の実施
 - ・SNS 東京ルール、「東っ子タブルール」を活用した情報モラル指導
- ④異学年交流を推進する
- ・「なかよし班活動」の実施
- ⑤キャリア教育を推進する
- ・キャリアパスポートの実施
 - ・幼保小中連携教育を進める

（取組3）体力向上、健康・安全教育の推進

- ①基本的な生活習慣を育てる
- ・年間2回のあいさつ週間や日常的な給食後の歯みがき、フッ化物洗口の取組

②体力の向上に向けた取組の充実を図る

- ・体力テストの結果・考察をもとにした体育学習の工夫・改善
- ・「江戸川っ子なわ跳びチャレンジウイーク」「持久走週間」「なかよし班遊び」の設定

③健康の保持・増進に向けた取組の充実を図る

- ・「食に関する指導の全体計画」に基づいた授業等の実施
- ・食育の推進

④安全教育・防災教育の徹底を図る

- ・毎月の避難訓練の充実
- ・セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室、不審者対応避難訓練、引き渡し訓練の実施

⑤事故防止を徹底する

（取組４）共生社会の実現に向けた教育の推進

①特別な配慮を必要とする児童への支援体制の充実を図る

- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援委員会の活性化
- ・エンカレッジルームの活用促進
- ・巡回指導教員や特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、巡回心理士、介助員、保護者との連携強化

②UD（ユニバーサルデザイン）の視点から教室環境、教材・教具等を整備する

③学校 2020 レガシーを推進する

- ・障害者理解を深める取組～パラスポーツ体験 オリンピック・パラリンピックアスリートとの直接交流 等

④LGBTQ についての理解促進

（取組５）教職員の資質・能力の向上、校務改善に向けた取組の推進

①学校運営、教育活動の改善・充実に努める

②教職員としての専門性の向上に努める

- ・自己研鑽に励む

③OJT、校内研究を推進する

- ・中堅教員が若手教員を育成する体制の構築
- ・校内研究への積極的な取組

④業務の効率化、「働き方改革」を推進する

- ・副校長補佐、スクールサポートスタッフ、学年アシスタントの活用
- ・校務のデジタル化推進による情報共有・業務の効率化
- ・月２回の職員定時退勤日の設定（学校全体１日 学年ごと１日）
- ・最終退勤時刻 20 時

(取組6) 家庭・地域との連携・協働の推進

- ①家庭や地域の方々との連携を推進する
- ②学校の情報を積極的に発信し、教育活動への理解を深めていただくよう努める
 - ・学校ホームページや各種たよりの充実
 - ・学校公開の実施（年間3回 6/13～14 9/13 1/31）
- ③小中連携教育を推進する
 - ・小中連携教育の日 瑞江第三中学校（未定）
 - ・中学校部活動体験（6年）
- ④保護者や地域の方々の声を受け止め、教育活動の改善・充実を進める
 - ・学校関係者評価の充実
 - ・WEBを活用したアンケートの実施